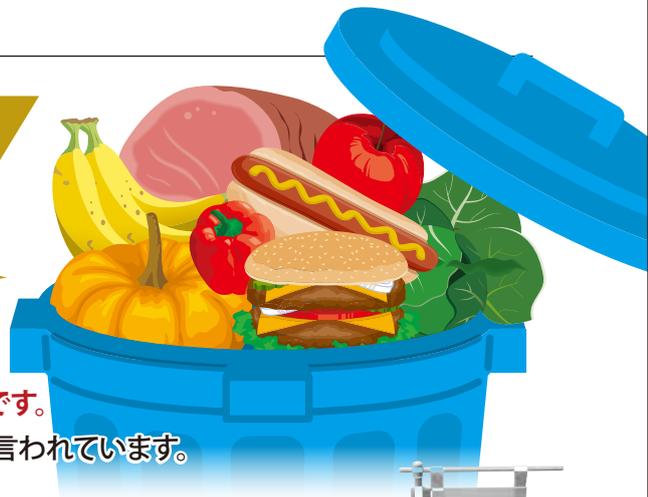


# もったいない。みんなで減らそう 食品ロス



「食品ロス」をご存じですか。まだ食べられる食品が捨てられてしまうことです。日本では、年間646万トンの食品ロス(平成27年環境省推計)が発生していると言われています。

この数字は、世界全体の食糧援助量の約2倍です。

食品ロスは、皆さんが普段の暮らしで少し心掛ければ変えていけるものばかりです。

もうすぐ、楽しい年末年始。食べ物の“もったいない”を考えてみましょう。

飲食店が  
できること

## よっかいち 食べきり運動

本市は今年度から、食品ロス削減に積極的に協力していただける一部の事業者をモデル店として、食品ロス削減事業の検証を行っています。モデル



▲食品ロス削減啓発ミニのぼり

店には、お客さんに

食べ切ることができる量の注文の呼び掛けを行うことや、食品ロス削減のPRグッズを設置していただくなど、店本来のサービスを妨げない範囲でご協力いただいています。



▲食品ロス削減啓発マグネット

宴会で  
できること

## さんまる いちまる 30・10運動



宴会や食事会などの開始30分と終わりの10分は席に座って食事をするという運動です。飲食店から出る生ごみのうち、約6割がお客さんの食べ残しだと言われています。

年齢層や男女比を確認して、食べ切れる量を注文し、食べ切りの協力を呼び掛けるなど取り組んでみましょう。

家庭で  
できること

まとめ買いした食材、古くなった調味料、作りすぎた料理…。これらを、ごみ箱に捨てることになっていませんか。日常生活の行動を、意識して変えてみましょう。



野菜などの厚むきをしない

作り過ぎず、食べ切る工夫を



無駄なものは買わない、もらわない



## 年末年始の片付けは計画的に

四日市市クリーンセンターのごみ処理量やごみ搬入件数は増加傾向にあります。それに伴い、搬入するときに発生する待ち時間の増加が問題となっています。昨年の年末には最大2時間程度の待ち時間が発生しました。多くの人に気持ち良くご利用いただくために、スムーズな搬入と計画的な利用にご協力をお願いします。

- 1 早めに掃除を済ませて、年末の駆け込み搬入は避けましょう
- 2 土曜日は、特に混雑します。時間に余裕をもって来場してください
- 3 施設内でのごみの分別作業は待ち時間の増加につながります。あらかじめ、ごみの分別をしてから搬入をお願いします

ごみの分別をする人で混雑する市民ヤード



四日市市クリーンセンターにごみを搬入するときに発生する混雑状況

